

# 2018年度 アメリカ留学報告書

実習先：セントラルミズーリ州立大学

実習期間：8月22日（水）～12月6日（木）

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21017069  
菅沼 楓

## 目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4-1 留学スケジュール	4
	4-2 留学の詳細	5
5	当初目的・目標への達成度	7
6	反省・課題	7
	謝辞	8

## 付録

	留学日誌	8
--	------	---

## 1 留学先及び留学期間

留学先：セントラルミズーリ州立大学 (University of Central Missouri)

留学期間：平成30年8月22日（水）～平成30年12月6日（木）

※帰国は12月7日（金）

## 2 留学先概要

### ①大学について

セントラルミズーリ州立大学はミズーリ州のウォレンズバーグにある総合大学である。この大学にはミズーリ州以外からも全米43州、約60か国からの留学生が集う、国際的な大学である。一番近くにある栄えている都市はカンザスシティで、そこへは高速で一時間ほどかかるため大学自体はとても田舎にある。そのため、非常に落ち着いた環境の中で勉学に励むことができる。学生寮や大学が管理する学生専用のアパートが存在するため、学生は安全に暮らすことができ、大学が学生の海外生活を十分にサポートしてくれる。敷地内には大学が運営する空港やゴルフコース、屋内外プール、大型体育館、スポーツジムなどが完備されており、スキルアップのために多くの学生がこれらの運動施設を利用している。

### ②大学で行われている教育について

セントラルミズーリ州立大学には、様々な学部があり、その中で特に有名なものが航空学である。全国からパイロットを夢見る学生が多く集まる。私たち国際情報大学の学生が受講したプログラムはIntensive English Program(IEP)という留学生のためのクラスであった。1～9段階にクラスに分かれており、自分のレベルにあったクラスで授業を受けることができる。また、少人数のクラスのため、先生が生徒一人一人に真摯に向き合ってくれる。クラスには、日本人のほかにも韓国人、サウジアラビア人、スペイン人など多くの異国の人が共に授業を受けており、お互いに母国語が英語でない人々と英語やアメリカについて学んでいくことができる。

## 3 留学目的

今回の留学目的は、英語のスキルアップはもちろん、異文化の人々と触れ合うことによっていろいろな新しいことに挑戦して自分自身を成長させるためであった。日本は、多くの外国人に愛され、多くの外国人が訪れており、日本に

暮らしている外国人も少なくない。実際に日本に住んでいて外国人を見かける機会も多く、英語が話せて損することはない。また、2020年には日本の首都である東京でオリンピックが開催されることになっており、より多くの外国人が訪れること間違いなしである。少しでも訪れている外国人の方々の役に立ち、さらに、自分の英語力を向上させることができ、自分自身を少しでも変えることができるのは実際にアメリカへ行って生きた英語を学び、異国の人々と交流することが最善の道だと考え、今回の留学を決めた。

## 4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

### 4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下の通りである。

月	日	内容
8	22	到着、入寮
	23	オリエンテーション
	24	クラス分けテスト、バレーボール観戦
	27	Session1 授業開始
9	6	American Football開幕戦
	14	IEP Activity Golf、観光
	20	JSO event
	21	IEP Activity 観光
	27	Drag queen contest
10	4	JSO event
	7	Japan Festival
	11	IEP Activity Bonfire
	13	Ed Sheeran concert
	26	Pumpkin Carving
	27	Home coming、Halloween party
	31	Halloween party、Escape Game
11	1	IEP Activity 映画鑑賞
	4	Food Show

	12	Thanksgiving dinner
	17	ホストファミリー訪問 Thanksgiving Break
	18	Florida trip ↓
	24	↓ ↓
	25	↓
	29	JSO event
12	3	TOEIC
	5	IEP Graduation Ceremony
	6	出国
	7	帰国

## 時間割

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1 (9:00~10:50)	Reading Skills	Communication Skills	Reading Skills	Communication Skills	American History
2 (11:00~12:50)	Writing Skills	Grammar Skills	Writing Skills	Grammar Skills	USA Japan Relations
(13:00~13:50)	Lunch Break				
3 (14:00~14:50)	Accent Reduction	TOEIC	Accent Reduction	TOEIC	
4 (15:00~15:50)	Reading Lab	American Culture	Writing Lab	American Culture	
5 (16:00~16:50)				English Cafe	

### 4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の詳細は以下の通りである。

<授業概要>

#### ①Reading

テキストや本を使って長文を読み、それについてわかったことや自分の意見をペアやグループのメンバーと話し合う。1人で黙々とテキストの問題を解いたり、週に一回指定された単語を使って文章を作るテストも行われる。このリー

ディングの授業では長文読解や単語力を養うことができる。

## ②Writing

この授業では自分でテーマを決め、それに沿って自分で情報収集してまとめてエッセイを作り上げる。まず、自分が何について調べたいかというところから始まり、いろいろなサイトや本を使って適切な情報を得、それをまとめていく。この授業では着実に文章力をあげることができる。

## ③Communication Skills

主にプレゼンテーションでコミュニケーションのスキルをあげていく授業である。みんなの前に立って自分が調べたことについて発表することで自信をつけることができる。また、どのような順序でプレゼンテーションを進めていけばよいかも学ぶことができる。

## ④Grammar

今までに中学や高校で学んできた文法を復習として英語で学んだり、更にもう少し発展した文法を学ぶのがこの授業である。頭の中で作った文章をクラスメートや先生に話したりもする。

## ⑤Accent Reduction

4~5人で一つのグループとなり、その中に英語を正してくれるClinicianが一人ついてグループで英語を使ったゲームをする。発音がわからなかったり、困ったことがあればすぐに聞いて理解することができる。

## ⑥American History

カラフルな教科書を使ってアメリカの歴史について学んでいく授業である。ラムネを使って実際に貿易を行ったりもした。

## ⑦TOEIC

パートごとに問題を解いて、それぞれのパートでの問題の解き方を学んでいく。何度も過去の問題を解くので問題形式を理解することができる。

## ⑧American Culture

アメリカの文化について学んでいく授業である。資料から読み取った情報をみんな理解していく。みんなの前でちょっとした発表もしたりする。また、時にはアメリカのスポーツや遊びを学ぶためにアクティビティも行ったりする。

### ⑨USA Japan Relation

日本とアメリカの間に何が起こったかについて学び、学んだことに基づいてプレゼンテーションを行うことでより、日本とアメリカの間に何が起きたかを学ぶことができる。

### ⑩English Cafe

いろいろな国の人とお話することができる。あるテーマについてそれぞれの国ではどうなのかを話したり、個々でお話を楽しんだりした。

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

### ①英語力の向上

もともとアメリカに行く前の自分が自分の名前とThank youくらいしか言えなかったために、今回留学したことによって確実に英語力は向上したと思われる。ご飯を食べる時でもなにか困ったことが起きた時でも英語を話さなければ何も伝わりません。どうにかしてでも自分の気持ちを相手に伝えようと努力した結果、約4か月という短い期間ではあったが英語力を向上させることができたのだと思う。

### ②異文化理解

アメリカ人の人とバス・トイレを共有したこと、現地の人々の家に訪問させてもらったこと、宗教のクラブに参加させてもらったことなどによって多くの異文化について学ぶことができた。例えば、外国人の人々はみな、自分のためだけでなく人を通すためにドアを開けてくれる。日本では見ない行動にただただ感動した。そうしたことを感じた結果、改めて日本はこういう国なんだと感じることができたし、見つめなおすいい機会になった。

## 6 反省・課題

約4ヶ月の留学で英語力が向上したのも、自分自身が変わることができたのは事実である。しかしながら、まだまだ満足していい結果では全くなく、今後もこの留学したという経験をもとに、より努力していかなければならないと感じた。

## 謝辞

セントラルミズーリ州立大学への留学の際に私たち留学生をサポートしてくださったValerie Hemingさん、Jill ThomasさんをはじめとするIEPの先生方、その他留学先にてお世話になった大勢の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の留学担当であった先生方にも心より感謝しております。そしてなによりも多額のお金がかかる留学に行かせてくれた親に感謝してもしきれません。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、有意義な体験ができたこと心より感謝いたします。

## 付録：留学日記

### ①アメリカンフットボール観戦

アメリカンフットボールの開幕戦にはみんなで参加した。正直、ルールは難しくてわからなかったがみんなで応援する姿勢が素晴らしく、選手の人たちもかっこよかった。



### ②Ed Sheeran のコンサート

10月13日、Ed Sheeranがカンザスシティにてコンサートをするという話は聞いていた。はじめはあまり知らないし、チケットの買い方もわからないし、高いと聞いていたので行くつもりなんてなかった。しかし、友人からチケットが余



っているから来ないかという連絡をコンサートの2日前に言われ、せっかくの機会だと思い、行くことに決めた。2日前だったために全ての曲を覚えることができなかったが、海外のライブを実際に肌で感じることができ、日本にはない盛り上がり方だったりを感じることでとてもいい経験になった。

### ③スターバックス

大学内にスターバックスがあり、アメリカのみでハロウインの時期に期間限定で売られる魔女のフラペチーノを飲むことができた。また、スターバックスを訪れる他のお客さんとも犬を通して仲良くなることもできた。

### ④飛行機

セントラルミズーリ州立大学で出会った、パイロット系の学部を専攻している先輩に大学で実際に飛行する際に利用している飛行機を特別に間近で見せてもらった。将来飛行機を運転するであろう先輩に会えたことがすごいと感じた。

### ⑤ハロウイン

アメリカはすごくイベントを大切にする国だと感じた。留学期間中はハロウインの時期とかぶっていて多くのハロウインを感じた。例えば、大きなかぼちゃに穴を開けてジャコランタンを作ったり、ハロウイン当日にはみんなで仮装をしたりした。アメリカでの仮装はクオリティも高く、クリスマスもアメリカで過ごしてみたい気持ちも高まった。また機会があればアメリカでのクリスマスも体験してみたい。

### ⑥フロリダ旅行

11月の後半に一週間ほどある **Thanksgiving Break** の期間中にフロリダに旅行に行った。目的はウォルトディズニーワールドとユニバーサルスタジオフロリダであった。自分たちで飛行機とホテルとチケットの手配をし、ディズニーに4日間、ユニバに1日行った。正直、ちゃんとコミュニケーションがとれるか心配の中の旅行だったが、特に大きな問題もなく無事に楽しむことができた。娯楽だったとはいえ、フロリダへの旅行もいい経験となったのではないかなと思う。今度は別の州にも行ってみたいと思う。